令和5年3月1日

令和4年度 学校関係者評価及び改善策

(中間・最終)

_ 蒲刈中学校区 校番23 学校名 蒲刈中学校

評価項目	※評価	理由·意見
目標,指標の設定の 適切さ	А	・指標が数値や実態等によって判定できるものになっているので分かりやすいです。読書冊数で平均値というのは、試験があったりしてあまり読めなくても夏休み中とか多く読める時に読めばよいので良い方法です。ただ家庭学習の習慣が身に付いたかどうか自分で判断しにくいと思うので宿題や予習・復習がどれだけできたとか工夫されたら良いと思います。 ・授業の「不易と流行」の意識、「教えて考えさせる授業」を推進し、小規模校の良さを生かし生徒の知・徳・体を延ばすよう設定されています。
目標達成のための方策 の適切さ	Α	・読書活動の活性化・理由、根拠を上げながらの説明・宿題・発表の場の設定、NIE・ICT機器を活用した教育等々、大切なことが網羅されています。目標達成の方策として適切であることを再認識しました。 ・各項目において、きめ細かく設定されている。読書、家庭学習、体力つくり、新聞を活用し、社会の出来事に関心を持たせるなど、私個人も高校時代に読書に関心を持てる1冊に当たり現在も読書を続けています。生徒にもこの1冊にあたってほしいものです。 ・「未知の状況にも対応できる」「学んだことを人生や社会に生かす」ことは大事なことと思います。ただ「自立」を意識した時に教員や周りの大人がお世話しすぎているのではないかと思っています。このバランスが難しいところです。
自己評価の結果の分析の適切さ	В	・課題をきちんと把握することが,改善策の源だと思います。 朝読書の時間は10分間しかありません。どのように使われているか把握できているのでしょうか。担任も一緒に席に着くと内容が充実した経験があります。少人数だからこそ,個に応じたことが出来るのではと期待しています。 ・自己評価はいつも思いますが,数値が低いように思います。
今後の改善策(案)の 適切さ	Α	・いつも思っていることですが、具体的な改善策は分析の適切さと関係があると思いました。随分具体的になっていると思います。 ・きめ細かく具体的な方策がとられている。 ・設定された場で事前に準備して発表する機会は、少人数を活かして多く経験できるような教育内容になっており恵まれてはいますが、「大海」に出たときに通用するだけの力を付けておくことが大切になると思います。小学校から同じ人間関係の中で過ごし、自分のことを分かってくれる人の中で生活してきた人が、外の世界で自分から人間関係を作ったり、様々な状況に適応していける力を作って行ってほしいと思います。
その他	さっな。 基直を が 学 に が 学 な た だ か か き な た だ か き な た だ か き か き か き か き か き か き か き か き か き か	参加できた合同発表会、学校だより等で、先生方が一生懸命取り組んでくだいることがよく分かります。これまで中止してきた行事の再開は新しく作り上げの労力を要すると思われます。先生方も大変ですがよろしくお願いいたしままな歴史のであるという学校本来の使命に向かって今後とお願いいたします。 は前も入学後も生徒の事に対し、色々と気遣いされていると聞き、大変あり思いました。 こより毎回センス良く丁寧に情報発信されており素晴らしいと思います。回覧ってきますが、地域の人にも小中学校に関心を寄せていただくことができるとす。

※ 評価は, A(とても適切), B(概ね適切), C(あまり適切でない), D(まったく適切でない), N(分からない)

4名の学校関係者評価委員の皆様から、学校に対して率校のことを考え、支援してくださっていることを感じました。 だだき、学校に対して期待してくださっていることが伝わっただき、学校に対して期待してくださっていることが伝わったの今後の改善策	また元気が出る言葉をいてきました。今後、アン訪れる中、学校を引き続き
--	------------------------------------